

はなのえん 花宴

筆（ふじ入居者：眞山 キヌ様）

美味しい食事を 食べ続けられるように

特別養護老人ホーム山科積慶園
管理栄養士 野崎 留実

気付けば施設開設6周年記念の行事も終わり、桜が舞う季節となりました。開設時は山科積慶園の味というもの確立するのに毎日悩んでいましたが、6年かけて徐々に「美味しい」と言ってもらえる事が増えており、嬉しく思っています。と同時に、6年も経つと普通の食事が食べにくくなられる方もおられます。食べにくくなられた方にはゼリー食を提供しているのですが、見た目や味にバリエーションが欠けることが難点です。

昨年度はその難点を少しでも解消する為に行事食は出来るだけ見た目良く提供できるように厨房職員と相談し、お寿司の日はお寿司らしさが感じられ、普段と違うと思えるゼリー食の提供が可能となりました。

今後も味はもちろん、見た目や匂いからも食べたいと思われる食事を提供していきたいと思います。

私事です、結婚をして田舎から都会に出てきて、住み慣れた場所を離れる寂しさと新しい生活を始める大変さを実感しました。

6月には初めての出産をひかえており、「無理したらあかんよ」「体調は大丈夫？」等の温かい声をかけてくださる方や笑顔で大きいお腹を撫でてくださる方がおられ、日々勇気付けられています。

4月25日からは一旦仕事をお休みして育児に専念します。来年の桜を満喫した後、また山科積慶園のみなさまにお会い出来る事を楽しみにしています。

ゼリー食・・・施設で調理した食事をミキサーにかけて凝固剤で固めて提供。市販のムースやゼリーも活用。

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 古村 正哉

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第17号 発行日平成27年4月1日（春号）

御利用者様方にとって より良い生活が送れるように

特別養護老人ホーム山科積慶園
フロアリーダー 藪田 昌也

暖かくなってきた今日この頃、四季の中で最も過ごしやすいく索敵な春の季節がやってきました。花見にピクニックにと色々予定を楽しむ人も多く、私もそのうちの一人で、バーベキューをするのが一番の楽しみとなっています。

御利用者様方は、なかなか春の季節を肌で感じる機会が少なく、施設の中から外を眺めたり、TVや職員やご家族様からの情報を元に間接的に春を感じておられる事でしょう。

口には出さないけれど、「自由に外に出られたらな。」「お花見しながら美味しいものでも食べたいな。」と思ってる方も多と思います。

私事です、1年半前に交通事故に遭い、初めて入院生活を経験しました。大きな怪我もなく過ごしてきた人生だったので、苦痛の日々でした。思うように体が動かない、体が痛い、食べたいものが自由に食べられない、家族が側にいない、行きたいところに行けない、等々思う事はたくさんありました。入院生活は2週間程だったのですが、その後も2ヵ月程自宅安静が続き、仕事復帰はしているものの未だに後遺症に悩まされている現状です。

特に入院時、御利用者様方の姿が浮かびました。病院と施設では異なるし、病状も異なるものの、「自宅」ではない場所で「不自由」な生活、共通するものがあると思いました。私の場合、入院中は「退院」、自宅安静中は「安静解除」、という区切りへむけての我慢でしたが、御利用者様方は区切りのない生活を送っているのだな、と改めて感じました。

私達の仕事は御利用者様方にとってより良い生活が送れるよう援助していく事ですが、私達に至らない点があったり、満足を援助出来ていても、自宅ではなく他人との集団生活なので多少はストレスのある環境下にある為、日々努力をして下さっているのだと感じています。

今後も一生懸命にスタッフ一丸となってより良い生活を送ってもらえるように頑張りたいと思っています。



今年は年明けから大雪で、天候の変化が激しく過
しづらい冬でした。でも気づくと梅が咲いたり、沈丁
花の良い香りがどこからか香ってきたり春がやって
きています。暖かくなると行事も増えますので、また
皆さんとご一緒に楽しい事を沢山したいと思っています。
春を楽しみましょう。(杉山)



《オールディーズライブ♪》

オールディーズバンド「^{ナイン ワン ワン}9 1 1」のみなさんにお越し頂き、迫力ある演奏を聴かせていただきました。

オールディーズの曲が始まると自然と身体が動いてしまう方が、あちら、こちらに。サックスはソロで演奏して頂き、ライブハウスにいるようでした。最後はみんなで「ふるさと」を合唱して、感激で目頭を押さえておられる利用者様もおられました。アンコール終了後も、どなたも席を立たれず、再々アンコールで演奏していただき、予定時間を少し過ぎましたが、みなさん楽しい午後のひとときでした。また、来て下さい♪ (湯川)



《餅つき》

施設全体で新年を迎える準備をします。暖かな餅つき日和の中、「よいしょ！よいしょう！！」と、元気の良い掛け声が響きます。職員の頼りなくごちない様を見かね、杵を奪い取り!?まさに、『昔とった杵柄』ご利用者様がお手本を見せて下さいました。老若男女が代わる代わる、何とかお餅をつき上げることが出来ました。そして、つきたてのお餅は手際よく鏡餅に仕上げていきます。皆さん、服や顔まで真っ白になりながら「もっとこうしたらええ」「上手やなあ」と和気あいあいに作業が進みます。口も動くが手も動く、さすがです！

最後のお楽しみはうる餅の振舞です。大根やきな粉、あんこをつけてパクリ！善哉をゴクリ！つきたての柔らかなうる餅は大好評でした。(古村成)



《開設6周年記念行事》

開設記念といえば、恒例の「マグロ解体ショーとマグロ握り食べ放題!!」今年も30kg越えの大きなマグロを準備しました。

部位の説明や質疑応答など、対話をしながら和やかな雰囲気解体は進んでいきました。

希望者には解体ショーに飛び入り参加して頂きました。骨の間の身をスプーンで削り取っていく作業です。そのままスプーンを口に入れたい衝動を押さえながらの難しい作業でした。

解体後はお楽しみの昼食、マグロ握りの食べ放題!! 30Kg 越えのマグロは食べ尽くせたのでしょうか!? (古村成)



《避難訓練》

3月10日肌寒い中、消防署の方立ち会いのもと夜間想定避難訓練が行われました。

訓練内容は初期消火・避難誘導・通報・情報伝達などでした。実際に避難訓練をすると、火災報知機の音が大きく、驚いている利用者様もみられました。声掛けを聞きづらそうにされている方もみられました。

又、火災報知機で1Fが火事だというのは分かるものの、何処が火元なのかの館内放送を聞き逃している職員もみられた点は反省すべきだと思えました。

避難時は慌てることなくスムーズに南側のベランダに避難して下さりました。

特に問題も起きず、怪我のない避難訓練が無事に行えました。今後も予期せぬ事態に備えられるよう気をつけていきたいと思います。(武田)



12月『クリスマス会』

12月今年のクリスマスはユニットでケーキ作りを行いました。初めての試みで不安もありましたが、ユニットごとに個性のあるケーキが出来ました。

職員も驚く程の大きなケーキでしたが、ご自身で作られたケーキの美味しさは格別のご様子で、ペロッと食べて下さいました。職員扮するサンタからのプレゼントにも笑顔で喜んで下さり素敵な日になりました。(稲垣)



1月『鍋パーティー』

毎年恒例の新年鍋パーティーを、各フロアー、ユニットで開催しました。5Fあやめでは、1月20日昼食時に行いました。テーブルの上のお鍋を利用者さんが囲み、みなさん「何が出来るのかな?おいしくできるかな?」とワクワク、ドキドキ!!出来上がりに「わあ、おいしそう!」と笑顔満開。喜んで召し上がっておられました。

ジュース、ノンアルコールビールで「今年もみなさんお元気で!」とみんなで乾杯しました。おかわりされる方もおられ熱々のお鍋を職員も一緒に「ああ、お腹いっぱい」と楽しく、美味しくいただきました。

また、1月10日には書き初め大会を開き、今年目標を書いていたきました。(野間)



2月『節分・折り紙レクリエーション』

ボランティアの先生に来て頂き、折り紙でお雛様を作りました。皆様、「先生!これは、どこに付けるの…」と、真剣な表情で作成されていました。

出来上がった、お雛様の顔を見て「まあ…何と可愛いお雛様。」と笑顔で喜ばれ、ある方は「私は7人姉妹で、自分のお雛様がなかった…」とも言われていました。

その後は、お雛様を見て、皆様と一緒におやつを召し上がり、楽しい一時を過ごしました。次回は、鯉のぼりに挑戦する予定。(大浦)



「鬼は外。福は内。」



お雛様作成中



3月『ひなまつり』

♪明かりをつけましょぼんぼりに～

3月3日に各ユニットで散らし寿司を作りました。

あおいユニットは利用者様の食事形態に合わせて、少し柔らかい目のご飯を炊いて寿司酢と混ぜました。しゃもじでご飯を混ぜる人、うちわでさます人と役割分担バッチリです。皆で味見をして「おいしい。」とお料理が得意だった方の太鼓判をいただき、一安心。

普段、ゼリー食を食べておられる方も、口に入れると、しっかりモグモグ嚙んでおられ感動しました。(大屋)

